

講座風景7月

「地域学習の必要性

～地域の交流館・交流館の活動団体を知る～

とよたシニアアカデミー 共通講座 ④

日時：令和6年7月9日(火)10:00～11:40

場所：豊田市福祉センター

とよた市民活動センター
所長 小澤真里氏

豊田市文化振興財団
交流館課主任指導主事
岩田雅子氏

豊田市が考えるシニアアカデミーの位置づけ

生涯を通じて学び・育ち、
誰もが活躍できるまちの実現

「交流館ってどんなところ？」「本を借りたことはあるけれど…」

今回の共通講座では、地域活動の必要性や交流館の役割と活用方法などについて学び、9～10月の「地域での活動体験」に向けて、市民活動団体の中から個別に体験先を決めました。次回は実際に市民団体の方と活動を共にします。さまざまな団体がある中、選んだ活動先ではどんな出会いが待っているのでしょうか。少しドキドキしますね。



悩むなあ…



体験先の市民団体がたくさん！

人気の講座はジャンケンポン！

受講生の
ふりかえり

- ・ 交流館ってなに？とって思っていたが、「学び・交流・活動」するための施設であり、いろんな講座が行われていることを理解しました。早速近くの交流館に行ってみようと思いました。
- ・ 交流館の利用の仕方（人生における目的を見つける時の指針等を示してくれる施設）がよくわかる講義でした。しかし高齢者が能動的に交流館を利用してみようと思うまでのプロセスが確立されていない現状もあると思いました。
- ・ 交流館での市民活動が多く存在していることに驚きました。学び合いとは「知る・気づく・相手を受け入れる・考える・体験・周りを共有すること」との小澤さんの言葉は印象に残りました。岩田さんの話から交流館は楽しい所から自分が楽しむ所、自ら活動する所へ認識したいと思います。
- ・ 子供・孫が小さい時はよく利用したが、大きくなって交流館、コミュニティなどを利用しなくなった。この機にまた一歩踏み出し、今この青春を楽しもうかと。新たな出会いを楽しみたい。
- ・ 元気で長生きするには、家の中にいるのではなくいろいろな人と出会い活動する。楽しみながらそれが自分だけでなく、他の人たちに喜んでもらえること、活躍の場をつくるのが大切であると改めて思いました。